

日本一の自治会で開催！！

創年コミュニティ 研究大会

— 3. 11後の克災都市づくり —

2011年

7月17日(日)

会場：立川市上砂会館

参加費：1,000円

創年とは

自己を生かし、よりよく創り変え、積極的に生きようとする生き方のこと

いまこそ、創年の出番です！

人と人とのつながりの大切さを一緒に見直しましょう。

近年「無縁社会」という言葉が話題になりました。私たちの生活の中で、孤立や孤独化が進んでいる現実が浮かび上がり、大きな衝撃を与えました。その対極にあるのが「立川市・大山自治会」です。個人が徹底的に自立を求められる社会で、住民同士のネットワークを活かし、強力なコミュニティを作り上げることで注目されています。

未曾有の震災を経て、人と人とのつながり「絆」が見直されているいまだからこそ、大山自治会を会場に、まちづくり・コミュニティづくりの分野で活躍する個人・団体の方々にご参加いただき、コミュニティとネットワークを考える研究大会を開催します。

スケジュール

| | |
|-------|--|
| 9:30 | 受付開始 |
| 10:00 | 開会式 あいさつ 東京都立川市長 清水庄平氏 報告「大山団地自治会にみる都市におけるコミュニティのあり方」 佐藤良子氏（東京都立川市大山自治会長） |
| 10:45 | 分科会 1. コミュニティ形成のための自治会活動の工夫 自治会活動には様々な側面があります。どこをポイントに、何に重点を置いて、まとまっていくのか。その方策を探ります。 パネリスト：中沢卓実（常盤平団地自治会長）・市川恵子（なかの生涯学習大学）・工藤日出夫（北本市議会議員） 2. 大不況時代の創年市民大学と学習内容 出口の見えない不況の中で、私たちは市民大学で何を学ぶべきなのか。今こそ、学習を通して得る豊かさを考えます。 パネリスト：増淵直嗣（矢板市ふるさと創年大学）・須藤勇（東松山市きらめき大学）・渡邊信（下田市「馬車道」松澤利行（八潮市職員） 3. 地域における創年活動 地域には、子どもと高齢者のほかに創年があります。創年が輝く地域こそ、本当に豊かなまちと言えるのではないのでしょうか。 パネリスト：池田恵美子（安房文化遺産フォーラム）・市川なお美（坂戸市職員）・田村満（ケセンきらめき市民大学長） 4. 災害復旧の力を生み出す市民活動 震災で多くのものを失った代償に、私たちは市民同士の強い絆の力を確認しました。いまこそ、私たちの絆を復興の礎に。 パネリスト：飯屋茂（コネカクラブ）・浅野恵美子（酒々井町職員）・鈴木迪雄（水産衛生管理システム協会） 齊藤ゆか（聖徳大学准教授） |
| 12:45 | 休憩 |
| 13:30 | 基調提言「安心・安全のコミュニティづくりと創年活動の進め方」 福留強氏（聖徳大学生涯学習研究所長・NPO法人全国生涯学習まちづくり協会理事長） |
| 14:05 | シンポジウム「創年コミュニティに求められる役割」 佐藤良子氏（東京都立川市大山自治会会長） 田村 満氏（岩手県大船渡市 ケセンきらめき大学長） 清水英男氏（聖徳大学人文学部教授） |
| 16:00 | 閉会 |
| 16:00 | 交流会（懇親会参加費；4,000円） |

お問い合わせ

NPO法人全国生涯学習まちづくり協会

〒271-8551 千葉県松戸市松戸1169 聖徳大学生涯学習社会貢献センター6階

TEL: 047-369-5665 FAX: 047-365-5692

主催 創年コミュニティづくり研究大会実行委員会

共催 NPO法人全国生涯学習まちづくり協会・立川市大山自治会・全国生涯学習市町村協議会

後援 立川市・立川市教育委員会・立川市社会福祉協議会・立川市自治会連合会

公益財団法人あしたの日本を創る協会・財団法人日本余暇文化振興会・財団法人全日本社会教育連合会

会場までのご案内

会 場 **立川市上砂会館**
 東京都立川市上砂1丁目13-1
 TEL：：042-535-2541

アクセス JR立川駅北口バスターミナル2番乗り場から乗車（約15分）
 大山小学校前下車徒歩1分
 お車でお越しの場合は、会場付近にあります案内係の指示に従ってください。



立川駅よりバス停までのアクセス方法



バス停から会場までのアクセス方法

参加申し込み（FAX送信用）

参加をご希望される方は、下記項目をご記入のうえ、FAXでお申し込みください。

FAX 047-365-5692

「創年コミュニティ研究大会」への参加を申し込みます。

| | | | |
|-------|---|-----|-----------|
| 氏 名 | | 性 別 | ()男 ()女 |
| | | 年 齢 | ()歳 |
| 住 所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | | |
| 希望分科会 | <input type="checkbox"/> 1. コミュニティ形成のための自治会活動の工夫 <input type="checkbox"/> 2. 大不況時代の創年市民大学と学習内容 <input type="checkbox"/> 3. 地域における創年活動 <input type="checkbox"/> 4. 災害復旧の力を生み出す市民活動 <input type="checkbox"/> 基調提言以降から参加する | | |
| 交流会 | <input type="checkbox"/> 参加する ()参加しない 交流会参加費は別途4,000円がかかります | | |

定 員 先着150名様

参加申し込み締め切り 平成23年7月8日（金）

* 定員になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申し込みくださいますようお願いいたします。
 定員に達した際は、事務局から連絡させていただきます。